

平成19年9月期 決算説明資料

(平成18年10月1日 ~ 平成19年9月30日)

平成19年 12月 21日

ひとを大切に。自然を大切に。

ホウライ株式会社



目次 ~ CONTENTS

1. 平成19年9月期決算概要	
1-1 業績サマリー	1
1-2 営業収益・営業総利益の実績	2
1-3 事業部門別実績	4
1-4 経常利益・当期純利益の実績	7
2. 平成20年9月期計画概要	
2-1 計画サマリー	8
2-2 営業収益・営業総利益の計画	9
2-3 事業部門別計画概要	10
2-4 経常利益・当期純利益の計画	13
3. 「新中期業務計画」概要	
3-1 骨子	14
3-2 経常利益とフリーキャッシュフロー	15
(ご参考)主要な経営指標等(実績)の推移	16
(ご参考)事業内容のご案内	17

本資料の見通し(予想値)は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため 実際の業績は、今後の事業環境の変化等様々な要因により、予想数値とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

なお、本資料に記載の金額(実績)については、百万円未満の金額は切り捨てて表示しております。

1-1 平成19年9月期 業績サマリー

(単位:百万円)

	第123期実績 (平成18/9月期)	第124期実績 (平成19/9月期)	前期比	増減率(%)
営業収益	5,981	5,772	-209	96.5
営業総利益	1,135	1,191	+56	104.9
経常利益	985	908	-77	92.1
当期純利益	-5,038	606	+5,644	-

•全ての事業部門で営業収益が前年を上回りましたが、碎石事業撤退による減少分を埋めきれず、5,772百万円(前期比209百万円減)となりました。

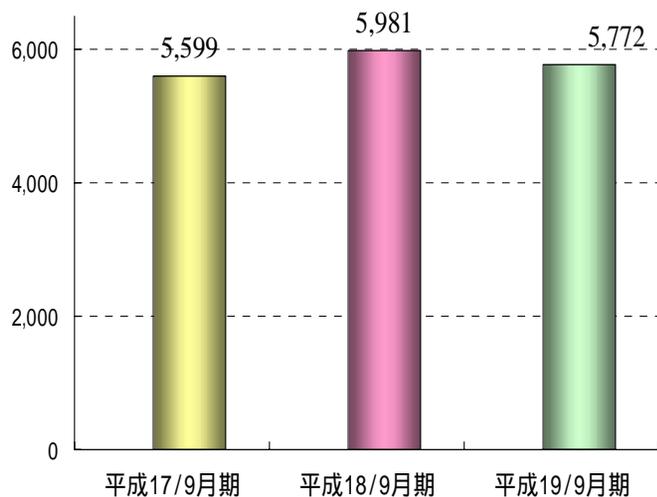
•営業原価は保険事業で事業譲受に伴うのれんの償却増等がありましたが全体では減少となり営業総利益は1,191百万円(前期比56百万円増)となりました。またマーケットからのゴルフ会員権買取に伴う消却益の減少等により経常利益は908百万円(前期比76百万円減)となりました。

•当期純利益は前年の固定資産の減損損失がなくなり606百万円(前期比5,644百万円増)となりました。

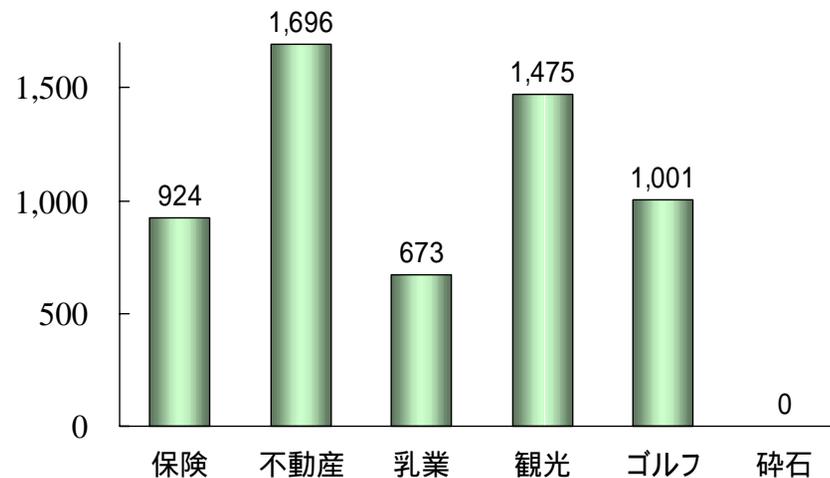
1-2 平成19年9月期 営業収益・営業総利益の実績(その1)

営業収益

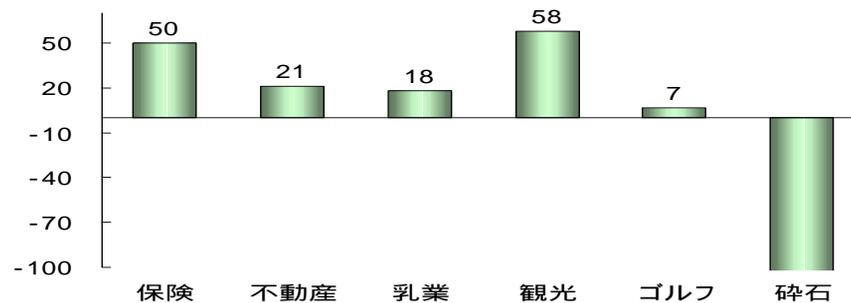
(単位:百万円)



部門別内訳



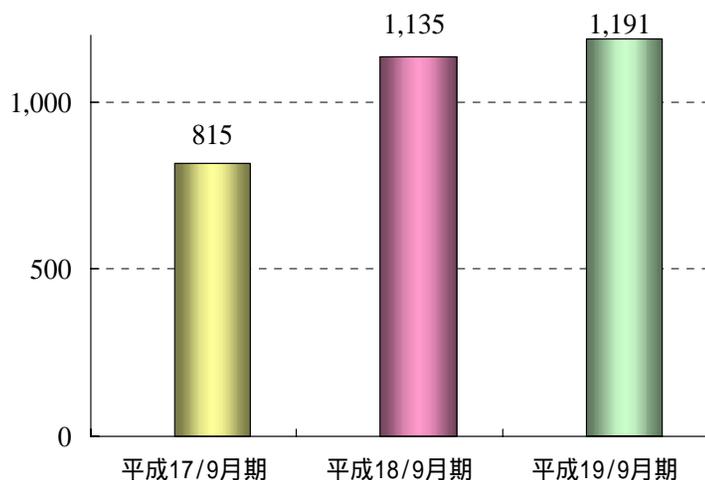
▶ 前期比: -209百万円



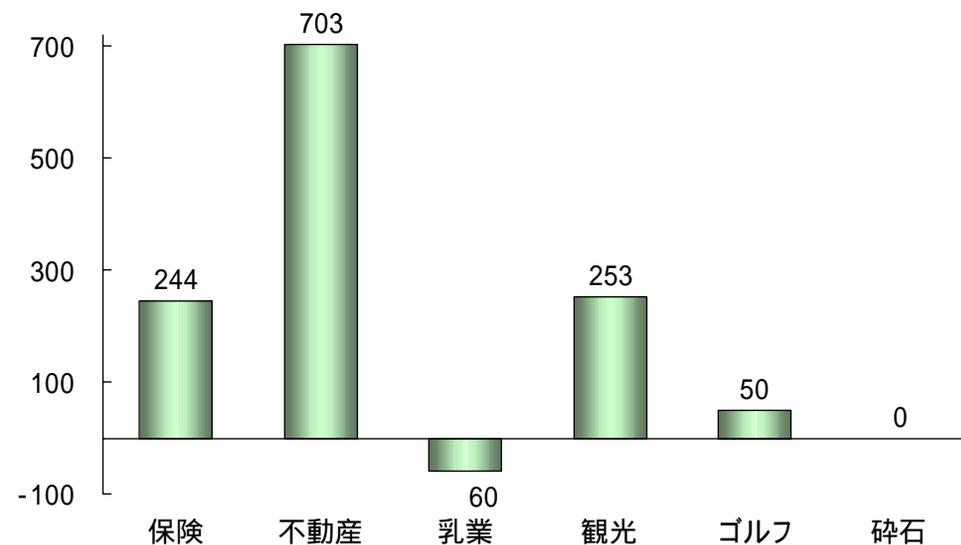
1-2 平成19年9月期 営業収益・営業総利益の実績(その2)

(単位:百万円)

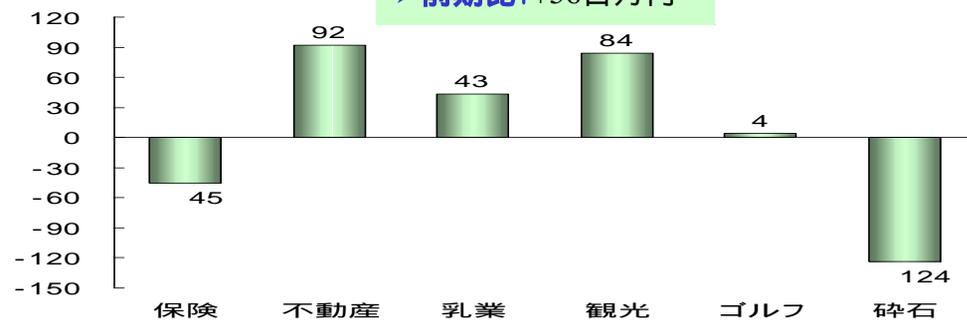
営業総利益



部門別内訳



▶ 前期比: +56百万円

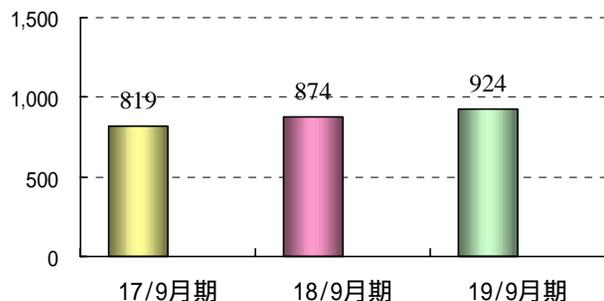


1-3 事業部門別概要(その1)

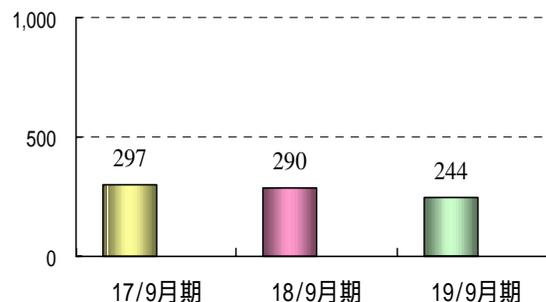
保険事業

(単位:百万円、百万円未満切り捨て)

< 営業収益 >



< 営業総利益 >

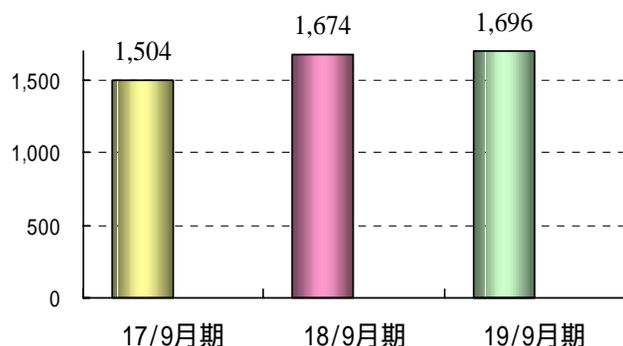


保険事業

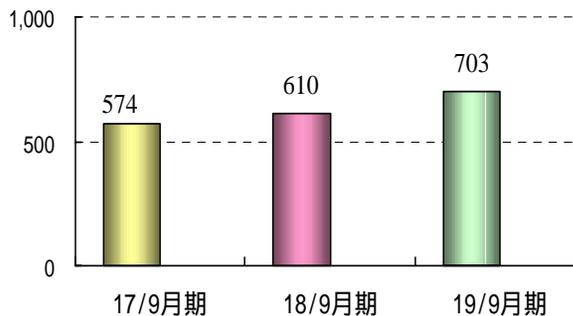
コンサルティング営業の強化と保険代理店事業譲受など営業基盤の拡充により手数料収入が伸び、営業収益は924百万円(前期比50百万円増)を確保しました。一方、事業譲受に伴うのれん消却の増加等、営業原価が増加しましたため、営業総利益は244百万円(前期比45百万円減)となりました。

不動産事業

< 営業収益 >



< 営業総利益 >



不動産事業

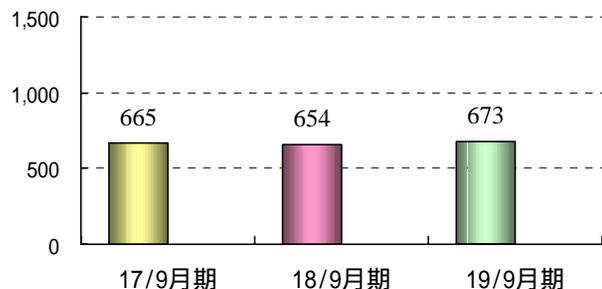
平成17年3月に取得しましたさくら堀留ビルの入居率が改善し、営業収益は1,696百万円(前期比21百万円増)となりました。修繕工事費の抑制などによりまして、営業総利益は703百万円(前期比92百万円増)となりました。

1-3 事業部門別概要(その2)

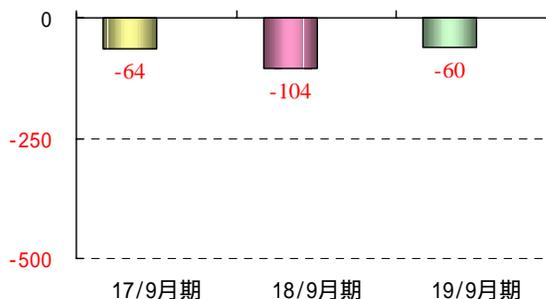
乳業事業

(単位:百万円、百万円未満切り捨て)

< 営業収益 >



< 営業総利益 >

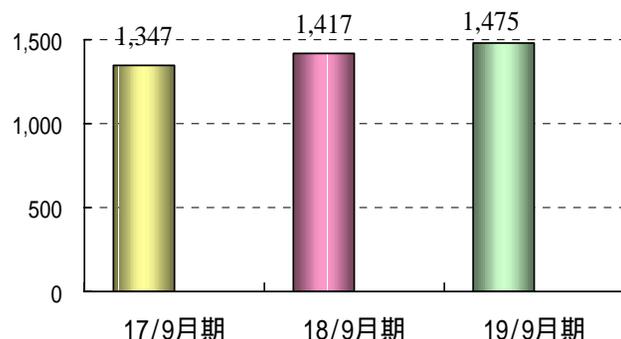


乳業事業

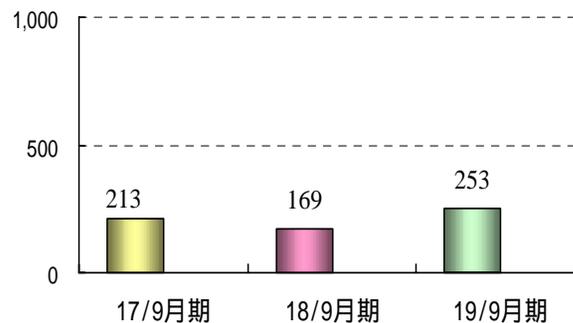
ギフト・定期宅配等新規チャンネルを拡大したことにより、営業収益は673百万円(前期比18百万円増)となりました。人件費の抑制、原材料仕入価格の引下げなどにより営業原価を削減し、営業総損失は60百万円(前期比43百万円改善)となりました。

観光事業

< 営業収益 >



< 営業総利益 >



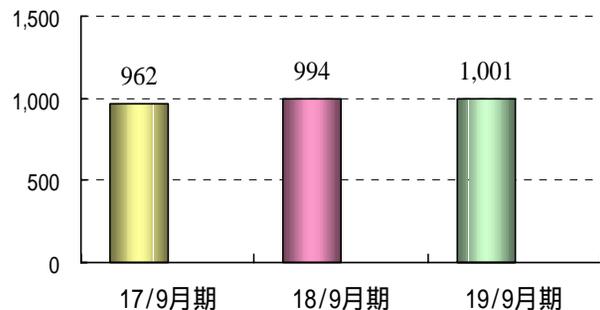
観光事業

猛暑・週末の悪天候などあったものの概ね天候に恵まれ、施設拡充効果が寄与したソフトパーラー、売店等が好調で営業収益は1,475百万円(前期比58百万円増)となりました。効果的な人員配置と経費削減に努めた結果、営業原価は前期を下回り、営業総利益は253百万円(前期比84百万円増)となりました。

1-3 事業部門別概要(その3)

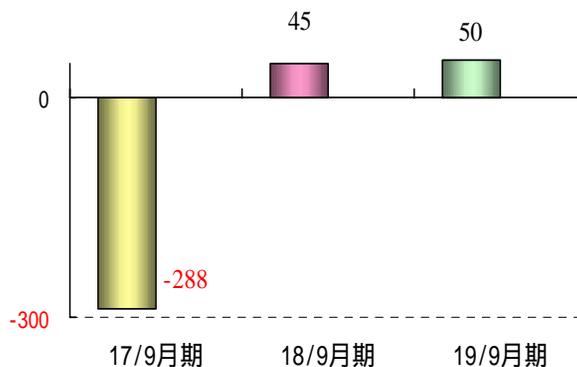
ゴルフ事業

< 営業収益 >



(単位:百万円、百万円未満切り捨て)

< 営業総利益 >

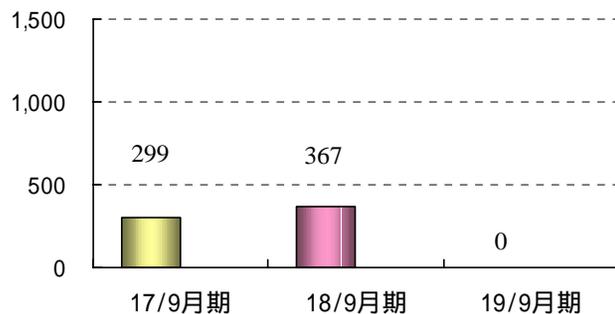


ゴルフ事業

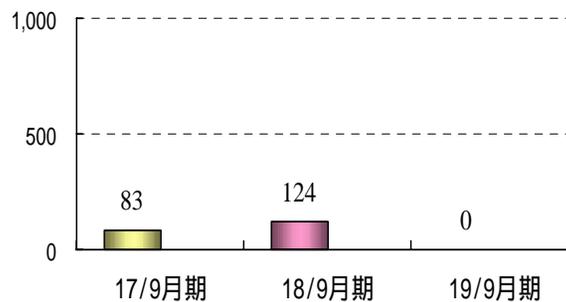
コースグレードの維持・改善に努めるとともにきめ細かな営業を展開しました結果、来場者数が増加し、営業収益は1,001百万円(前期比7百万円増)となりました。営業収益の増加に伴い営業原価も微増した結果、営業総利益は50百万円(前期比4百万円改善)となりました。

砕石事業

< 営業収益 >



< 営業総利益 >



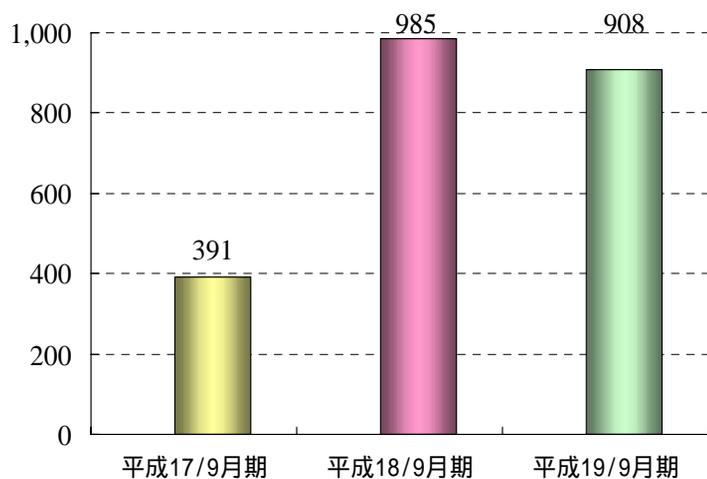
砕石事業

砕石事業は平成18年9月30日をもって廃止いたしました。

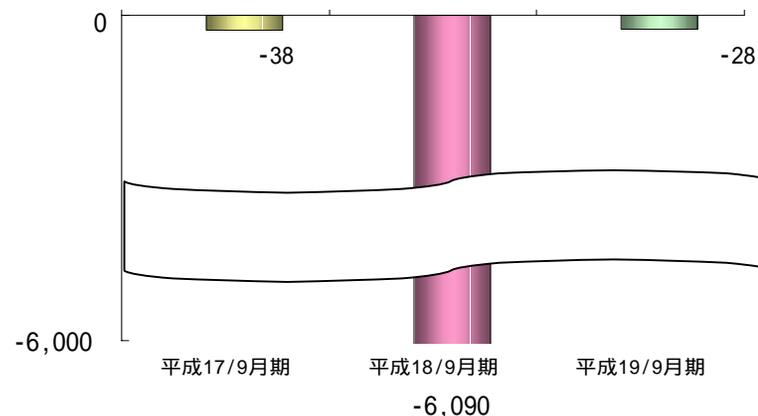
1-4 平成19年9月期 経常利益・当期純利益の実績

経常利益

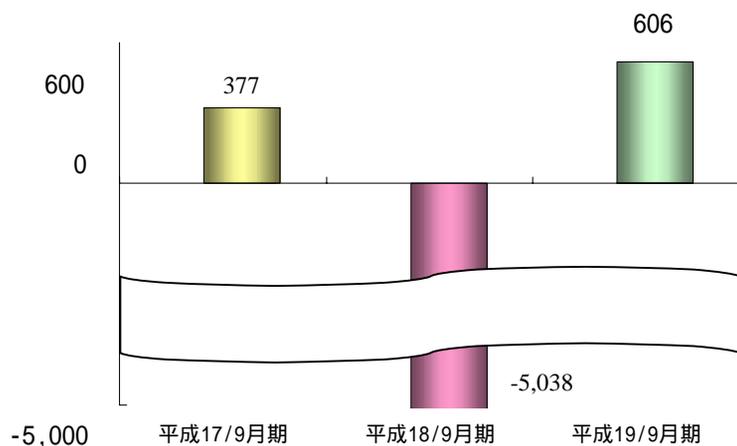
(単位:百万円)



特別損失



当期純利益



平成19/9月期

前期計上した固定資産の減損損失がなくなり、当期純利益は606百万円(前期比5,644百万円改善)となりました。

2-1 平成20年9月期 計画サマリー

(単位:百万円)

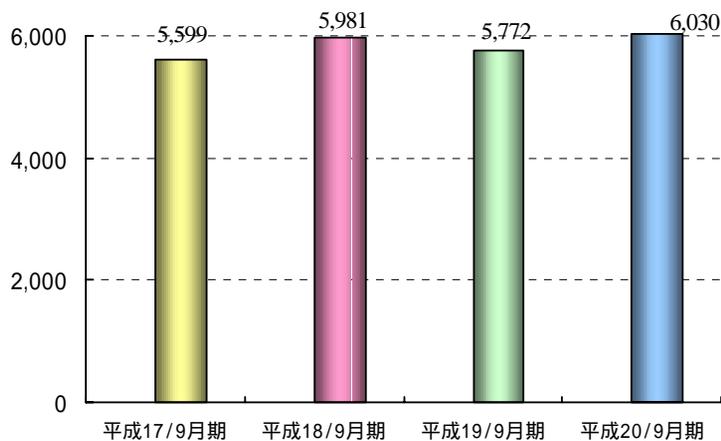
	前期実績 (平成19/9月期)	今期計画 (平成20/9月期)	前期比
営業収益	5,772	6,030	+258
営業総利益	1,191	1,315	+124
経常利益	908	1,010	+102
当期純利益	606	660	+54

20年9月期につきましては、新中期3ヶ年計画(18/9月期～20/9月期)の最終仕上げ年度でもあり、当初掲げました「経常利益・フリーキャッシュフローとも10億円体制」を目指してまいります。

2-2 平成20年9月期 営業収益・営業総利益の計画

営業収益

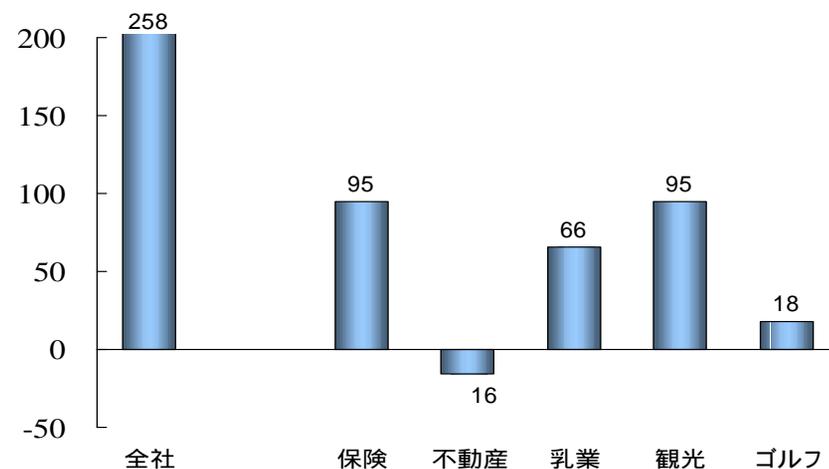
(単位:百万円)



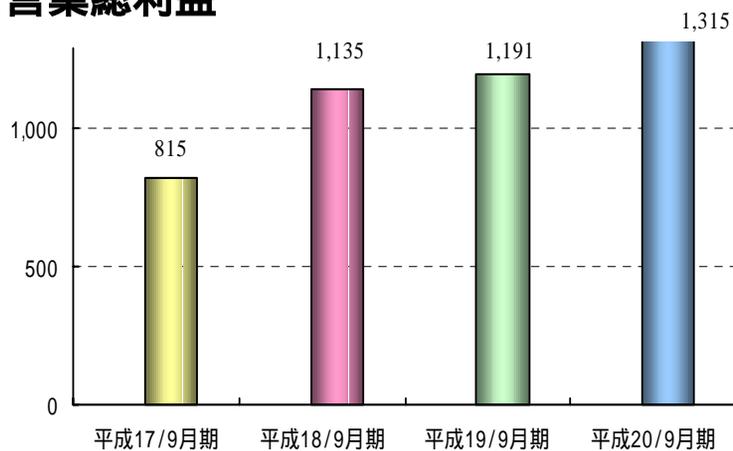
(計画)

営業収益(前年対比増減)

▶前期比(全社): +258百万円



営業総利益

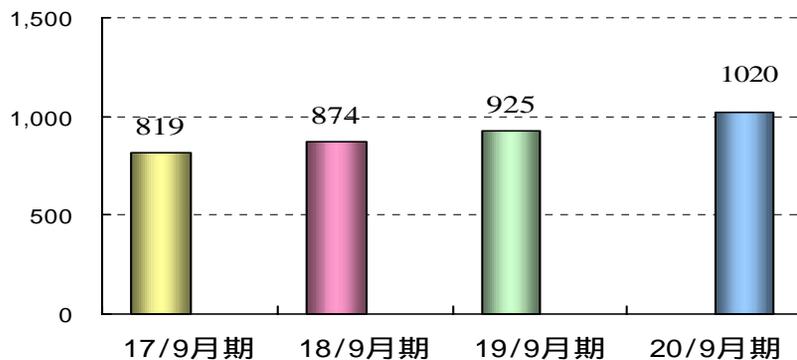


(計画)

2-3 事業部門別概要(その1)

保険事業

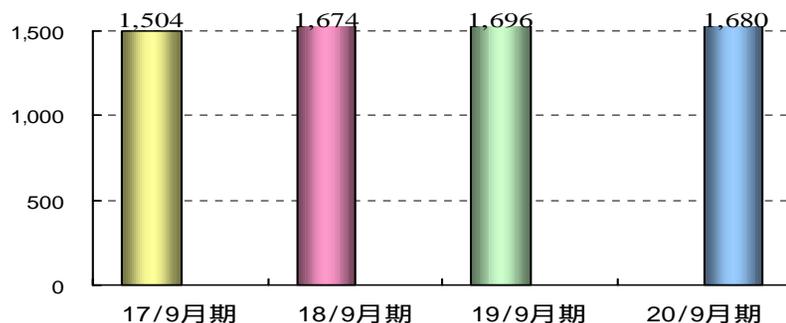
< 営業収益 > 前期比+95



(計画)

不動産事業

< 営業収益 > 前期比-16



(計画)

(単位:百万円、百万円未満切り捨て)

保険事業

トータルリスクマネジメントサービスの充実による差別化戦略の推進や、新規チャネルの開拓による基盤拡充等により攻めの体制を拡充するとともに、事務効率化を一層推進し、増収増益を図ってまいります。

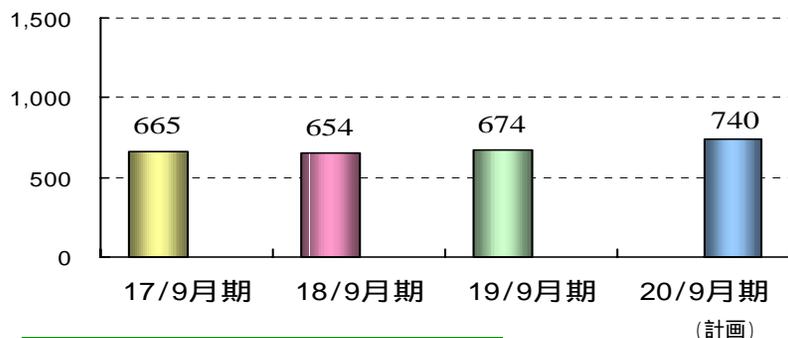
不動産事業

賃貸条件の動向に留意するとともに、ビルグレードの維持、向上に努め、テナント訴求力の高いビル運営により満室状況維持と適切な賃料確保に注力してまいります。

2-3 事業部門別概要(その2)

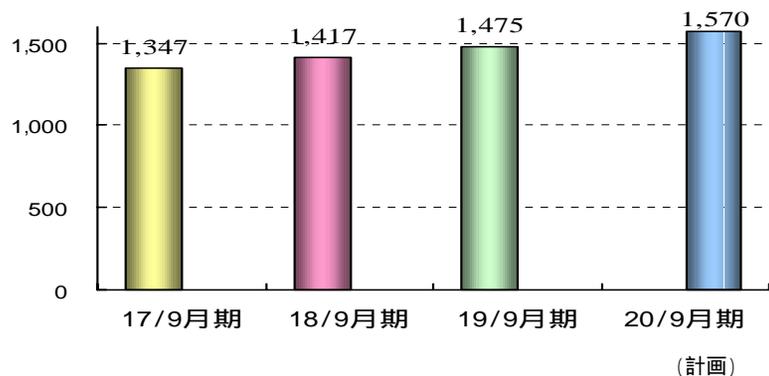
乳業事業

< 営業収益 > 前期比+66



観光事業

< 営業収益 > 前期比+95



(単位:百万円、百万円未満切り捨て)

乳業事業

牛体管理の改善等により乳量生産性を向上させていくとともにギフト・業務用の新規拡大により販売基盤の強化を図り、早期に黒字化を目指してまいります。

観光事業

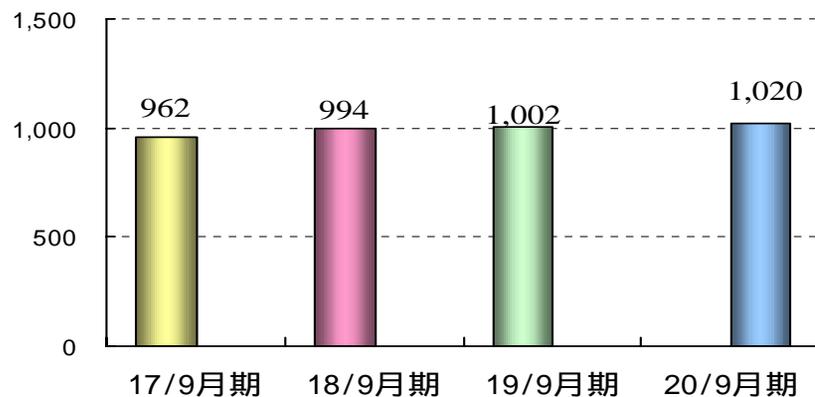
売店取扱商品の品揃え拡充やレストランメニューの継続的な見直し、また施設の一層の整備・拡充により、増収増益を図ってまいります。

2-3 事業部門別概要(その3)

(単位:百万円、百万円未満切り捨て)

ゴルフ事業

< 営業収益 > 前期比+18



(計画)

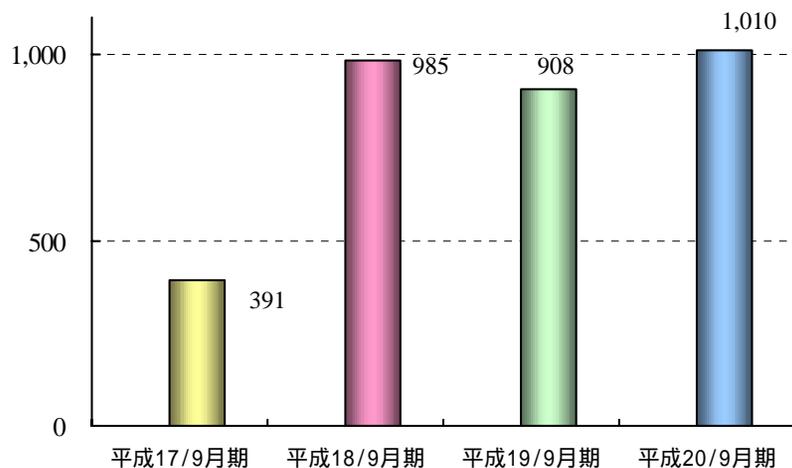
ゴルフ事業

コースの高品質を維持しながら営業収益の増加を図るとともに、引き続きコストダウンに注力し、黒字の定着化を図ってまいります。

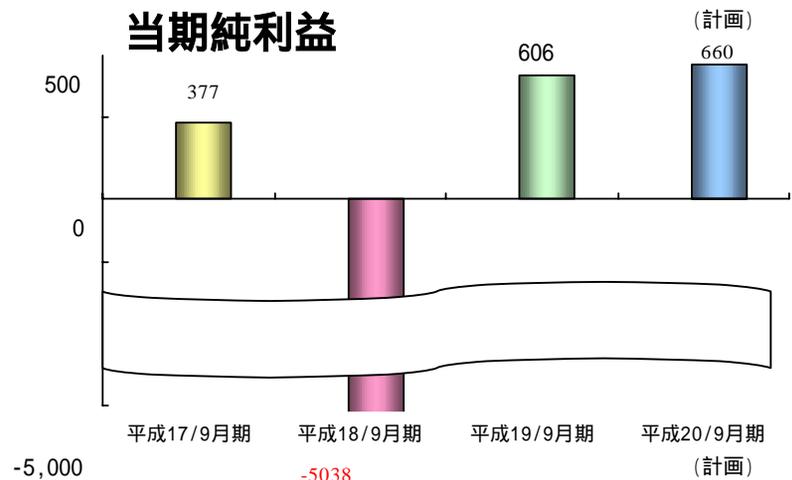
2-4 平成20年9月期 経常利益・当期純利益の計画

経常利益

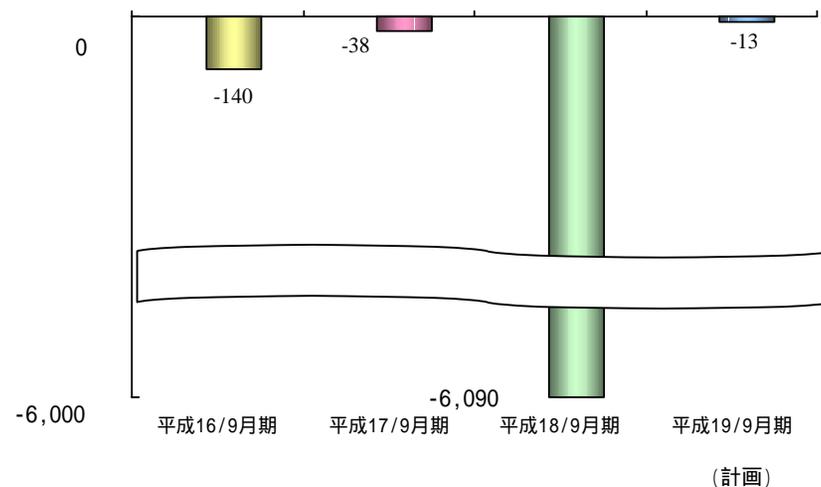
(単位:百万円)



当期純利益



特別損失



▶平成20/9期は、営業収益の増加を主因に当期純利益は増益となります。

3-1 「新中期業務計画」 骨子

平成20年9月期は、新中期3カ年計画の最終仕上げ年度であります。

(単位:百万円)

数値的目標

当初計画どおり、最終年度の平成20年9月期には、
経常利益・フリーキャッシュフローとも**10億円**体制を実現する

取組むべき主な課題

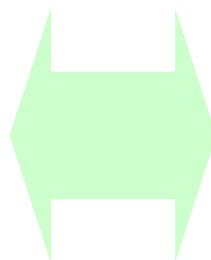
西那須野カントリー倶楽部の預かり保証金満期対応

平成20年5月に期限を迎える西那須野カントリー倶楽部につきまして、当社の提案に対し既に多くの会員の皆様から同意を頂いておりますが、引き続き適切な対応を図っていきたいと思います。

配当継続 19年9月期に続き、今期も配当可能な利益を確保、配当を継続してまいる予定です。

保証金満期対応

配当継続



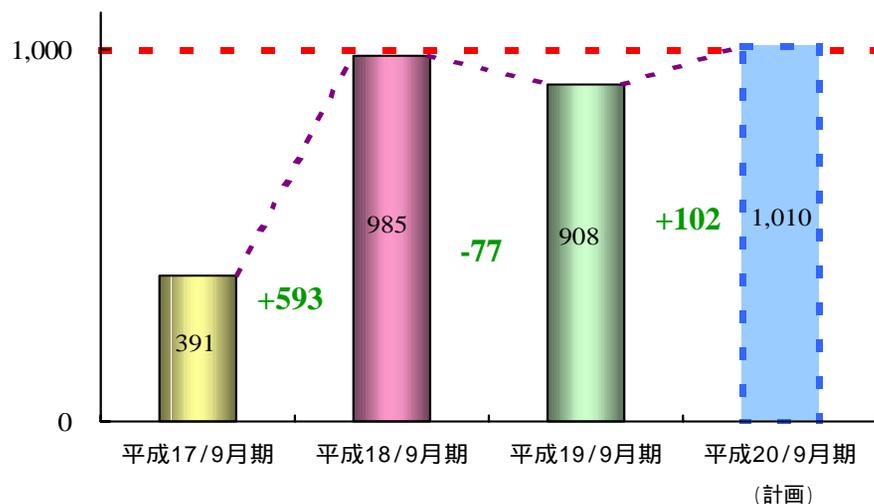
経常利益・フリーキャッシュ
フローとも

10億円体制の実現

3-2 「新中期業務計画」経常利益とフリーキャッシュフロー

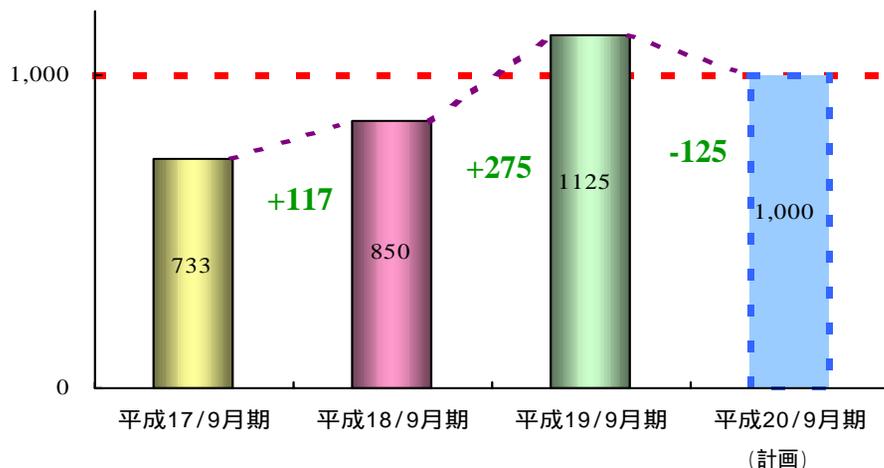
(単位:百万円)

経常利益



➤平成20年9月期は「新中期業務計画」の最終年度でもあり、経常利益・フリーキャッシュフローとも10億円を実現する見通しであります。

フリーキャッシュフロー



フリーキャッシュフロー: 償却前営業利益
+ ネット受取利息等 - 法人税等 - 更新的設備投資

1 平成20/9月期減少の主因は、税法上の繰越損失解消に伴う法人税等の増加であります。

2 平成20/9月期は、「平成19年9月期決算短信」に掲載の「20年9月期の業績予想」の計数です。

(ご参考) 主要な経営指標等(実績)の推移

(単位:百万円)	平成15年9月 通期	平成16年9月 通期	平成17年9月 通期	平成18年9月 通期	平成19年9月 通期
営業収益	5,057	5,319	5,599	5,981	5,772
経常利益	-364	150	391	985	908
純利益	-1,215	52	377	-5,038	606
総資産額	30,600	30,679	32,654	26,438	26,094
内 現預金	3,383	4,091	4,182	3,717	3,962
総負債額	21,107	21,131	22,622	21,469	20,513
内 預り保証金	20,338	20,331	19,175	18,281	17,326
内 有利子負債	0	0	()2,350	2,250	2,150
純資産額	9,493	9,548	10,032	4,969	5,580
内 資本金	4,340	4,340	4,340	4,340	4,340
1株当たり純資産額	676.83円	680.97円	715.90円	354.72円	398.57円
自己資本比率	31.0%	31.1%	30.7%	18.8%	21.4%
従業員数 (名)	260	186	181	192	171
(他平均臨時雇用者数)	(59)	(113)	(112)	(117)	(128)

(ご参考) 事業内容のご紹介



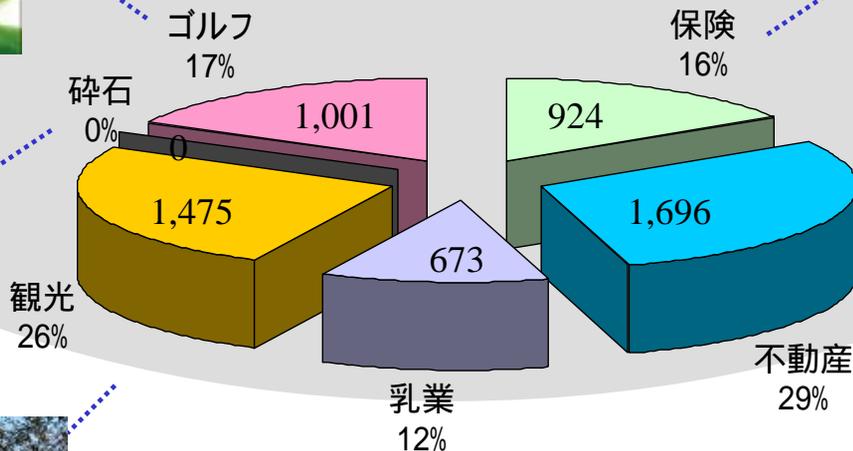
ホウライカントリー倶楽部
西那須野カントリー倶楽部の
運営

砂・砂利・砕石等の生産・販売
(平成18年9月事業撤退)



レジャー施設・レストランの運営
土産品・乳製品等の販売

売上構成 (平成19年9月期実績) (単位:百万円) 合計 5,772百万円



損害保険代理店業務
生命保険募集業務



乳製品(牛乳・アイスクリーム・
ヨーグルト)の製造・販売



ビル・不動産の賃貸・管理